

京都府漁海況情報

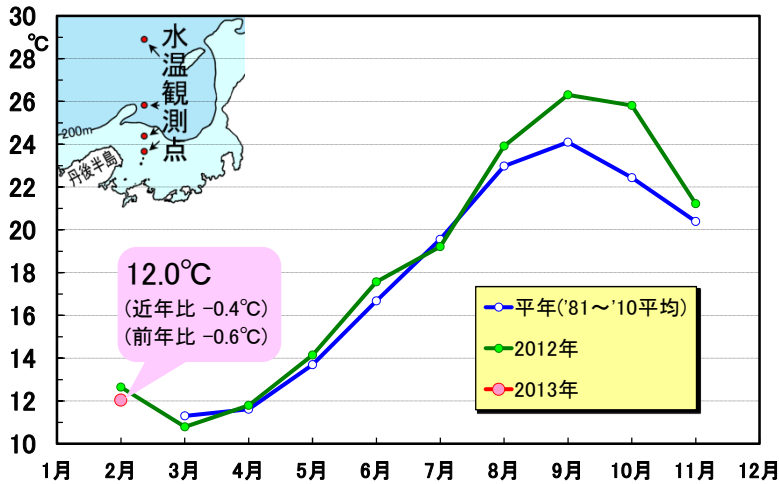
海の状況

京都府農林水産技術センター海洋センター 海洋調査部
<http://www.pref.kyoto.jp/kaiyo/>
 電話：0772-25-3078 FAX:0772-25-1532

【現況】

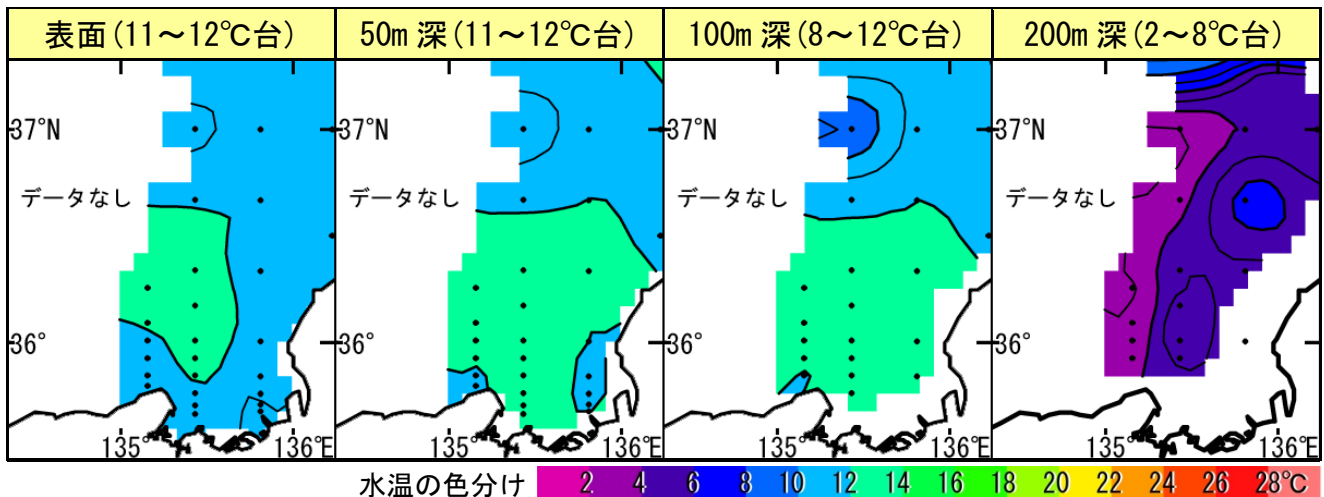
2月上旬における京都府周辺の表層水温は、前年および例年(過去10年平均値)よりやや低めで推移していました。

京都府沖の表層水温(0~50m 深平均)



京都府周辺の各層水温(2013年2月上旬)

資料元：(独)日本海区水産研究所



【今後の見込み】

資料元：気象庁、(独)日本海区水産研究所

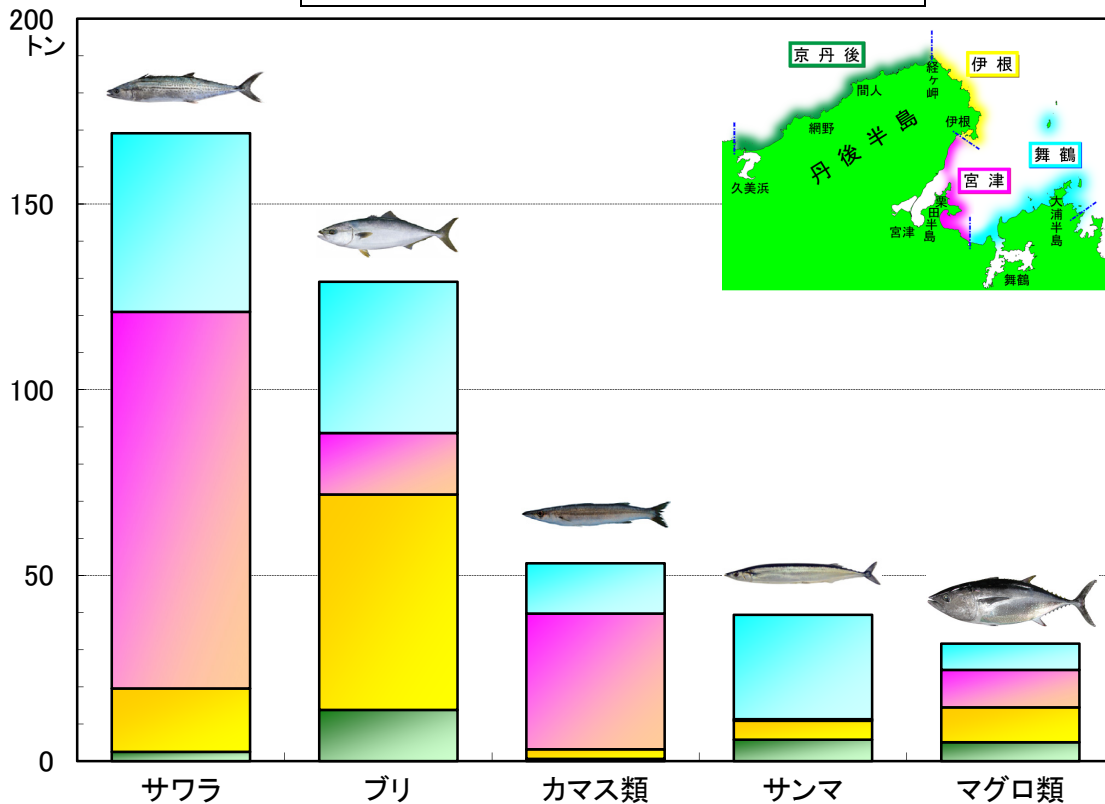
向こう1か月程度の予報	
京都府周辺の表層水温	「平年並み~平年より低め」で推移する見込み
対馬暖流の勢力	「平年並み」で推移する見込み

漁模様 ～2013年1月～

【定置網漁業】

サワラやブリ、マグロ類が比較的好漁でした。全体の水揚量は平年の9割でした。

2013年1月の地域別漁獲量(上位5魚種)



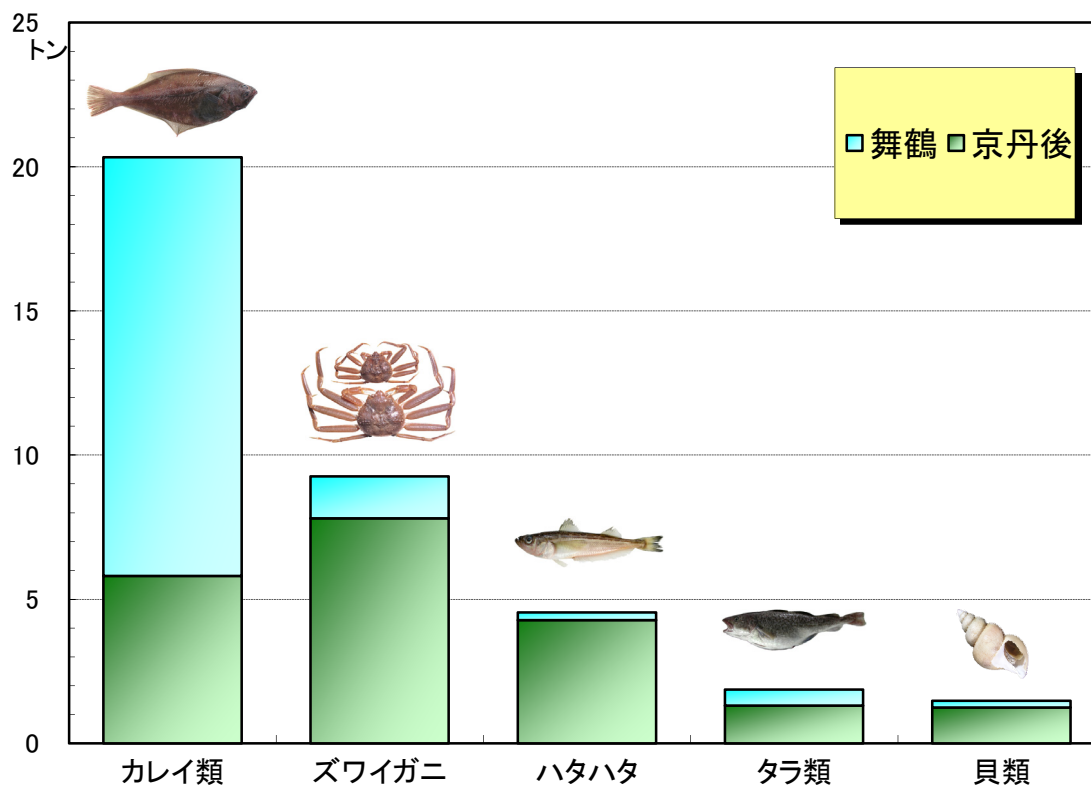
1月漁獲量(トン) 京都府漁連集計				
魚種	2013年	2012年(前年比)	平年(平年比)	備考
サワラ	169.1	111.3 (152%)	117.3 (144%)	<サワラ> さごし銘柄(尾さ長 42~50cm 主体)が9割強, より大型のさわら銘柄は1割弱でした。
ブリ	129.1	137.6 (94%)	100.4 (129%)	<ブリ> ぶり銘柄が6割強(尾さ長 80~90cm 級主体), つばす銘柄(尾さ長 32~41cm 主体)が3割強, はまち銘柄が若干量でした。
カマス類	53.3	58.3 (91%)	16.3 (328%)	
サンマ	39.4	3.7 (1058%)	7.2 (545%)	
マグロ類	31.6	13.8 (229%)	13.5 (234%)	
イカ類	31.2	34.8 (90%)	31.7 (98%)	<イカ類> ヤリイカ(冬いか)が15.8トン, ソデイカ(たるいか)が7.9トン, ケンサキイカ(白いか)が4.9トン, アオリイカ(秋いか)が1.6トンなどでした。
マアジ	24.1	59.5 (41%)	96.3 (25%)	
サバ類	17.5	2.1 (823%)	44.9 (39%)	
カタクチイワシ <small>(たれ)</small>	16.4	65.0 (25%)	78.2 (21%)	
カツオ類	11.7	3.2 (370%)	6.8 (171%)	
その他	76.5	68.2 (112%)	155.6 (49%)	
合計	599.7	557.4 (108%)	668.2 (90%)	

平年は過去10年平均

【底曳網漁業】

全体では前年の約2倍、平年の約8割の水揚げでした。

2013年1月の漁獲量(上位5魚種)

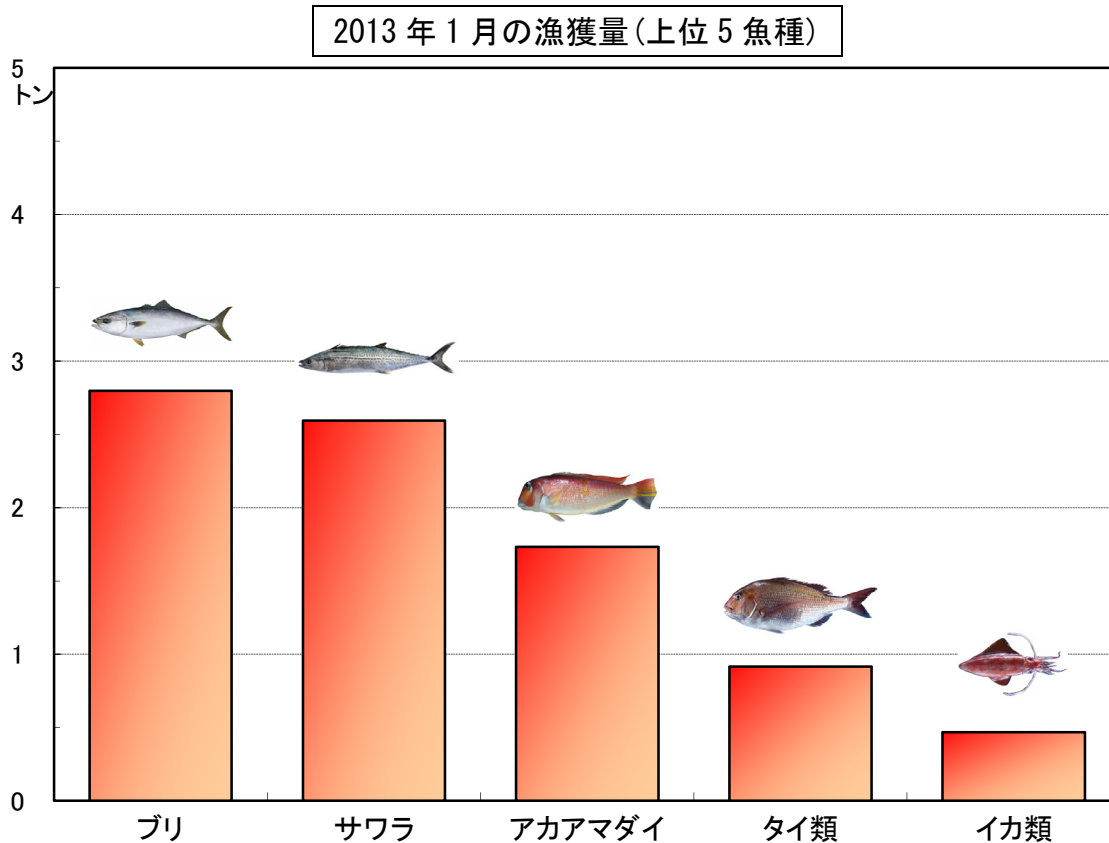


1月漁獲量(トン) 京都府漁連集計				
魚種	2013年	2012年(前年比)	平年(平年比)	備考
カレイ類	20.3	9.0 (225%)	16.2 (126%)	<カレイ類> アカガレイ(まがれい)が 17.0トン、ヒレグロ(黒がれい)が 2.1トン、ソウハチ(えてがれい)が 1.0トンなどでした。 <ズワイガニ> オス(間人がに、舞鶴かに)が 5.2トン、メス(せこがに)が 4.1トンでした。
ズワイガニ	9.3	5.2 (179%)	11.9 (78%)	
ハタハタ	4.5	2.5 (184%)	18.1 (25%)	
タラ類	1.9	0.2 (885%)	0.3 (600%)	
貝類	1.5	0.7 (204%)	1.0 (150%)	
ニギス(沖きす)	1.0	0.6 (155%)	0.8 (114%)	
タコ類	0.9	0.5 (175%)	1.3 (70%)	
タイ類	0.9	0.5 (186%)	0.2 (398%)	
エビ類	0.4	0.4 (102%)	1.0 (44%)	
アンコウ	0.2	0.1 (260%)	0.1 (157%)	
その他	2.9	2.4 (122%)	3.1 (95%)	
合計	43.9	22.1 (198%)	54.0 (81%)	

平年は過去10年平均

【釣り・はえなわ漁業】

全体の水揚量は前年並みで、平年の7割程度でした。



1月漁獲量(トン) 京都府漁連集計					
魚種	2013年	2012年(前年比)	平年(平年比)	備考	
ブリ	2.8	2.0 (140%)	6.5 (43%)	<ブリ> つばす銘柄が5割強, はまち銘柄が4割弱, ふり銘柄が1割弱でした。 <サワラ> さごし銘柄が9割弱, より大型のさわら銘柄は1割強でした。 <タイ類> マダイが6割弱, レンコダイが4割弱, クロダイが若干量でした。 <イカ類> ヤリイカ(冬いか)が0.3トン, ソデイカ(たるいか)やケンサキイカ(白いか), アオリイカ(秋いか)が若干量でした。	
サワラ	2.6	3.1 (83%)	2.4 (107%)		
アカアマダイ(ぐじ)	1.7	1.0 (172%)	1.1 (161%)		
タイ類	0.9	0.7 (133%)	1.0 (96%)		
イカ類	0.5	0.6 (76%)	1.3 (36%)		
メバル類(もいお)	0.4	0.4 (101%)	0.3 (147%)		
ウマヅラハギ(長はぎ)	0.3	0.4 (78%)	0.2 (179%)		
メダイ(たいししょうお)	0.2	0.6 (38%)	1.7 (15%)		
ヒラマサ	0.2	0.0 -	0.1 (270%)		
マアジ	0.1	0.6 (15%)	0.6 (15%)		
その他	1.4	1.4 (98%)	1.2 (118%)		
合計	11.1	10.9 (102%)	16.2 (69%)		

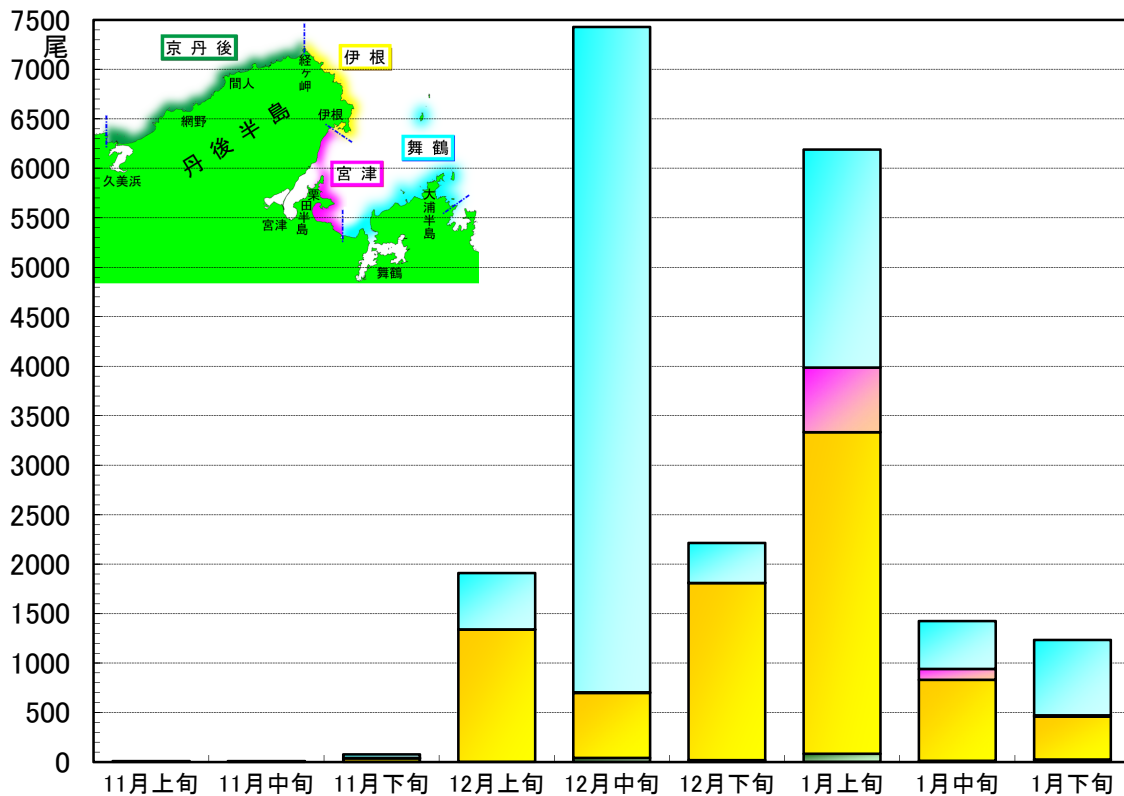
平年は過去10年平均

【トピック ～今季の寒ブリ漁況～】

今季（2012年11月～2013年1月）の定置網による寒ブリ（体重4kg以上のぶり銘柄）の漁況をお知らせします。

期間中の漁獲量は200トン（約20,400尾）で、平年同期と比べると約2.4倍でした。近年のなかでは、2010年12月の記録的な豊漁（321トン）に次ぐ好漁となりました。

今季の漁模様をみると、昨年12月に入ってから漁獲尾数がまとまりだし、同月中旬と年明けに舞鶴や伊根の海域で多獲されました。一方、京丹後など外海に面した漁場の漁模様はふるわず、海域による豊凶の差が大きかったようです。なお、近隣の福井県では年明け以降から、石川県では昨年12月から寒ブリの水揚げが好調でした（福井県水産試験場および石川県水産総合センター調べ）。



2012年11月～2013年1月における寒ブリの漁獲尾数の推移